

ウポポ  
UPOPO

ウポポ(座り歌/輪唱歌)

フンペパワ  
(8A) HUNPEPA WA クジラの頭から

K 匿名((鷗川筋))

サタモ Satamo 平賀サダ(サダモ)((福満))

サタモ: タネ チイエ クス ネ ウポポ  
Satamo: tane ci=ye kusu ne uopopo

アナツネ、テエタ カネ、ネウン アン クス、  
anakne, teeta kane, neun an kusu,

ウネノ アイヌ ネ ワ、ウラマンテ パテッ、  
uneno aynu ne wa, uramante patek,

ウコモシレウナラ、ウコイウォレウナラ  
ukomosirewnara, ukoiworewnara

ヘ タッ クス、コタノルン、チコロ  
5 he tap kusu, kotan or un, ci=kor

コタン ヌムコエコンパ ルスイ クシ  
kotan numkoekompa rusuy kus

アヲキ ヤ カ、コタノルン ウタラ アナツ  
arki ya ka, kotan or un utar anak

エラミシカリイタ、テエタ フチ、イワ  
eramiskari hi ta, teeta huci, iwan

ナイヌイキリ エボソ フチ、アスラニ ハウエ  
aynu ikir eposo<sup>1)</sup> huci, asurani hawe

エネ アニ、  
10 ene an hi,

“エチモコロ ワ エチオカ ルウエ ヘ  
“eci-mokor wa eci-oká ruwe he

アン? タネ タネ、タン アコロ コタン  
an? tane tane, tan a=kor kotan,

アヌムコエコモ、ヌムコエウチウアン  
a=numkoekomomo, numkoewciw=an

マ オカアン ルウエ ネ ナ、ホクレ  
wa oka=an ruwe ne na, hokure

サダモ(前置き): 今から  
私たちが歌うウポポは、  
昔むかし、どういうわけ  
か、同じアイヌ同士で襲  
撃し合ってばかりいて、  
自分の土地は人にやりた  
くないとか、自分の猟場  
は人にやりたくないとか  
のために、私たちの村を  
大勢で囲んで攻めようと  
やってきたことに村人は  
気づかなかったとき、昔  
のおばあさん、六代にわ  
たって生きたおばあさん  
が、次のように言って急  
を知らせました。

「あなたたちは眠っている  
のか。もうまもなく、こ  
の私たちの村が、取り囲  
まれる、もうぐるりと取  
り巻かれてしまっている  
のだから、さあ急いで、

1)六という数はたくさん  
を表す。六代にわたって  
生きたとは、たいへん長  
生きたこと。

クナッ ハヨッ ヤン!”  
kunak hayok yan!”

セコロ ハウエアン ルスイ コカ、  
sekor hawean rusuy korka,

“ハヨッ ヤン”  
“hayok yan”

シコロ ハウエアン ハウエ、アラキ ワ ソイ  
sekor hawean hawe, arki wa soy

タ イコカヌ ワ オカ、イライエ ルスイ クシ  
5 ta ikokanu wa oka, iraye rusuy kus

アラキ ウタッ イコカヌ ワ オカ ワ ヌ ヒ  
arki utar ikokanu wa oka wa nu hi

コバン クス、イタッマックステ<sup>2)</sup> アニ、  
kopan kusu, itakmakkuste<sup>2)</sup> ani,

“フンベバ ワ クトゥカン、  
“hunpe-pa wa ku=tukan,

タラッソ カ タレチウ”  
tarapso ka tareciw”

セコロ ハウエアン コロ、ルトム タ ホリピ、  
10 sekor hawean kor rútom ta horipi<sup>3)</sup>,

イワナイヌイキリ エポソ ルッネマッ  
iwan aynu ikir eposo rupnemata

ミムタラ カ タ ホリピ。  
mimtar<sup>4)</sup> ka ta horipi.

クス ケライボ、エアシッ コタネピッタ  
kusu keraypo, easir, kotan epitta

ソモ ウロンヌアン ノ、アラキ ワ オカ、  
somo uronnu=an no, arki wa oka,

イライエ ルスイ クシ アラキ ワ オカイ ベ、  
15 iraye rusuy kus arki wa okay pe,

アパススッ ネ クス、ヤイキラレ ワ  
a=pasúsu p ne kusu, yaykirare wa

イサム クシ ケライボ、コタン ヘブニ  
isam kus keraypo, kotan hepuni

セコロ アン ウバシクマ、クス アイェッ  
sekor an upaskuma, kusu a=ye p

ウポボ ネ、ワ タネ チイエ クス ネ。  
upobo ne, wa tane ci=ye kusu ne.

武装しなさい!」

と言いたいけれど、

「武装しなさい」

と言う声を、やって来て外  
で聴き耳を立てている、自  
分たちを皆殺しにたくて  
来たやつらが聴き耳を立て  
ているので聴かれるのはい  
やだから、隠し言葉で、

「クジラの頭からやつつけ  
よう。

眠っているうちにさされる  
ぞ」

と言いながら、土間で踊り  
ました。六代にわたって生  
きたおばあさんが入口のと  
ころで踊りました。

そのおかげで、村じゅうが皆  
殺しにされずに、やって来て  
いた、村人を皆殺しにたく  
て来ていたやつらは、ばれ  
たものだから、一目散に逃  
げて行ってしまったので、そ  
のおかげで村は栄えるよう  
になったという言い伝えの  
ために歌われているのがウ  
ポボになっています。それで  
今から歌いますよ。

2)直訳すると《言葉を後  
ろから通す》、人にわか  
らないような言い方。

3) horipi ホリピ《踊る  
(単)》、この場合、遊び  
としての踊りではなく、  
飛びはねて体を勢いよ  
く上下に動かす踊りの  
しぐさをした。

4) 入口を入ってすぐ  
の、足ふきのあるあたり。

フンベバ ワ クトゥカン  
 hunpe-pa wa ku=tukan 1 クジラの頭から殺していけ。

トゥイマ サイクル サイクシテ  
 tuyma saykur saykuste 2 遠くから来た大勢のものに  
 とり囲まれている。

タラソ カ タレチウ  
 tarap-so ka tareciw 3 眠っているうちにさされるぞ。

フンベバ ワ クトゥカン  
 hunpe-pa wa ku=tukan 1 クジラの頭から殺していけ。

トゥイマ サイクル サイクシテ  
 tuyma saykur saykuste 2 遠くから来た大勢のものに  
 とり囲まれている。

タラソ カ タレチウ  
 tarap-so ka tareciw 3 眠っているうちにさされるぞ。

フンベバ ワ クトゥカン  
 hunpe-pa wa ku=tukan 1 クジラの頭から殺していけ。

トゥイマ サイクル サイクシテ  
 tuyma saykur saykuste 2 遠くから来た大勢のものに  
 とり囲まれている。

タラソ カ タレチウ  
 tarap-so ka tareciw 3 眠っているうちにさされるぞ。

サタモ パクノ  
 Satamo: pakno. サダモ:もういい。

サダモさんは録音当時この歌を次のように訳した：

「大きなもの頭から殺していけ。  
 遠くから来た大勢の者に囲まれている。  
 ねているうちにさされるぞ。」

また後に次のようにも訳した：

「クジラが群れになって来ている。  
 遠くから来た人たちがぐるーり囲んでいる。  
 それを知らないでお前たちみんな眠っているのか、部落の人たちみんなね  
 ているとこやられるのか。」